

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	「違和感を感じる介護はしない」を目指し実践する中で、職員の想いが強すぎる為支援者本位の介護になっている事がある。	常に「ご利用者様本位とは何かの基本」に立ち返り、その時々に応じた声掛けや支援を行い、個別支援に取り組む。	支援を行う前には、必ず説明と同意をえる。又傾聴姿勢をもち、わかりやすい言語でゆっくりと伝える。個々の状況に応じた配慮を忘れずに支援にあたる。	6ヶ月
2	54 (20)	口腔ケアは共有の洗面台を使用している。個人で使用する物品(歯磨き粉や軟膏等)も共有スペースに保管してある為、安全・衛生面の配慮にかけている。又居心地の良い空間としては不十分な対応になっている。	各居室での洗面・整容をを行い、プライバシーに配慮した身だしなみができる。又衛生的に過ごせる。個人での洗面・整容が困難なご利用者様は、上記対応を基本に、個々に応じた配慮を心がけ支援にあたる。	ご利用者様が出来る事は安心して実施出来るよう見守りや声掛けを行いながら出来る限り居室で実施する。ご自身での管理が困難なご利用者様の口腔衛生用品や軟膏等は、誰でもが目につかない安全な場所に移動し、職員が管理する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。